

しそこなつた場合に悪い影響を与えておりま  
す。神経質の主訴で教育相談にやつて来る幼  
児のなかには、家に帰つて親が積み木などを  
もつて来ただけでも顔色を変えて逃げ出す状  
態になつてゐるものもありました。この最も  
ひどい例は、現在神奈川県の人で、専門学校  
を出た親でしたが、何等反省の色がなく、私  
の方で指導しても、ただ／＼いい学校にどう  
かして入れてしまいたいという気持で満ちて  
いました。

以上、私の言つたことをまとめますと、幼  
稚園で小学校のための準備教育を行うのはよ  
いが、小学校教育のためではなく小学校入学  
のための準備教育は、教育効果が極めて少い  
から政策的に入学難を解消するのが理想的で  
ある。しかし、小学校の方でそれをきかずそ  
れができない場合は、技術的に、先生や有識

## 二、幼稚園の立場から

私の此のシンポジウムで話をしろと御依頼  
を受けて何が此のシンポジウムの目的か解ら

者が父兄を指導することによつて、準備教育  
をしてまで入学難の学校に入れようとしな  
いことが望ましい。もしこれらのことが、父兄  
の方でそれをきかず、それができない場合  
は、できるだけ弊害があらわれないように、  
行うこと、すなわち、過度に行わなければ、  
あまり弊害があらわれない。そして、その内  
容としてはテストは適当であり、そのやり方  
は保育中に行う方がすじが通つてるのであ  
りますが、もし保育後にやる場合は、他の幼  
児との心理的なまさつに注意し、且つ、  
学習意欲をかめようとして小学校の良否を  
言つたりしないことを述べたのであります。  
以上によつて、小学校の準備教育が持つ地  
位と次に展開するための大ざつばな概念を述  
べて、前座の役割を果したく思います。

柿 内 三 郎

ぬ儘に出席したのですが、今山下先生や村山  
先生の御話を拝聴して全く御同感で準備教育

本然の姿が明示された以上何も付け加える必  
要もないと思います。併し此処に立ちました  
機会に準備教育に対する私の考を少し申述べ  
さして頂きます。

世の中に立つて独立歩で進んで行く為には  
社会に對する一定の識見を持ち且つ何かの  
職業的能力を具える必要があります。此の職  
業教育を受ける前に持たなければならぬ知  
識を具える為に必要なのが準備教育でありま  
す。

人間が嬰兒から幼児へ、幼児から少年へと  
段々発達して行く間に、初めは見たり聞いた  
りする丈なのが、注意して見たり聞いたりす  
るようになり、其の中に記憶の力が増すにつ  
れ、較べたり判断することが出来るようにな  
つて来る。視聴の力や、記憶の力や、判断の  
力は夫々時期によつて厚薄があり、従つて知  
識の涵養には時期に伴つて之に順応した準備  
教育が施されなければならない。

勿論精神の発達は大脳組織の発育と、之を  
助長するに必要な環境の有無によつて異なる  
から凡ての同年令の人は同じ様な発達を遂げ  
ているとは言えないのであるが、一般には、  
三、四才の時には、三、四才に相当した準備

教育が、又五、六才の時には、五、六才に相當した準備教育が十二、三才の時には十二、三才に應じた準備教育が施さるべきである。而かも前の時期の準備教育が十分に施されてない内に、次の時期の準備教育を施さずとは反つて精神の順調な発達を阻害し知識の正常な涵養を妨げることになる。

私は精神の発達に相當する様な準備教育が施されるならば早期の教育に決して反対するものではない。寧ろ幾人かの人々が早く準備教育を終えて、専門的知識の拡大に努力することが文化の為に望ましいと思ふのであるが精神の発達にそわないような教育を押し付けることは絶対によろしくない。

現今特殊の小学校には入学希望者が殺到するので親達は幼児を入学させる為に幼児の精神発達の程度を無視して色々の知識を付けようと努力している、之は眞の準備教育ではなく、特殊小学校入学競争準備の教育である。之は単に時間の空費である許りでなく、幼児に種々の悪影響をのこすのでよろしくない。私は幼稚園時代の準備教育は身体の健康保持、素直な子供になる為の躰、物事を正確に視、聴き、考ふる観察力の養成の三者に尽き

と思ふ。

一、身体の健康保持が脳の正常的發育に必要なことは申す迄もない。之には偏食を戒め睡眠を充分にし、気分を快活に保たせなければならぬ。

二、素直な子供になるための躰は知識の発達の上にも重要な要素である。小さい時から独立的な考え方を助成するのは必要であるが、之と同時に嬌慢な気持を押えるため謙讓な心を持つ素直な子供にするような躰が大切である。嬌慢な気持がなければ凡ての場合に与えられる知識を素直に受け入れることが出来、従つて判断力の発達にも役に立つ。

三、健康な身体を持ち、素直な躰を受けた幼児は物事に就て正確に視、正確に聴き、正確に考えるように観察力養成の機会が与えられれば知識は順調に発達するので、その他の準備は不要である。

以上の準備教育の三要素は幼稚園入園以前極端に言えば生後第一日から両親によつて育成されなければならぬもので、幼稚園は単に家庭の延長として之を助成するに過ぎない。近時幼児の母親の中には幼児を特殊の小学校に入学させようとして心配し、教力所の教

育相談所を次々に歴訪して知能検査を受けたり、十月、十一月頃、中には夫より以前から眼の色を変えて焦り出すことを見聞するが、之は全く幼児のために迷惑千万のことである。このような母親の子供は全く教育に無關心な母親の子供と同様に、希望する小学校に入れないで終わることが多い。之は精神の発達に副わない教育が無効であるばかりでなく、親の焦慮が子供にも反映し入学考査時に不安な態度で臨むからである。私は嘗て長男が小学校を終えて、中学校の入学考査を受ける前に、その学校には入学希望者が多いから、若しお前より良く出来る人があつたらその人に入学して貰う方が、世の中のためになる、お前は丁稚小僧になつてもよいではないか、と言つたことがあつた。こんな場合に若し子供が入学出来なくつても、自分が能力がないから入学出来ないのではなく、自分よりもよく出来る人があつたから入学出来ないのだと思えば落胆することもなく、又努力することにもなると思つたからである。

現今小学校入学競争のための準備で多数の幼児が苦しめられているようでありすが、之は教育の何事であるかを理解しない親の犠

性になつてゐるもので、之を避けるためには先ず両親を教育しなければなりません。私は三十四、五年前東大の教授になりました時から毎月学生と修養の集りを催しましたが、十二、三年を経過した頃漸く、高等学校を卒業し性格が出来上つてゐる大学生に説くよりも、十二、三才までに確りとした性格を作り上げるように幼児を教育することが大切であることを悟り四十八才の時から大学停年退職後に幼児教育に携わることを決心いたしました。併し幼稚園で幼児に接するようになりますと同時に両親が先ず教育されてなければならぬことを知り、只今ではよく教育された祖父母によつて導かれた両親によつて初めてその子供が立派に教育される、即ち教育には三代の時日を要するとさえ思うようになりました。この意味に於ては準備教育は三代かかるということになります。御清聴を感謝いたします。

### 三、小学校の立場から

滑 川 道 夫

私立小学校の一般に通じるものとして、將來大学に入つても十分に学習出来る能力を持つ子供を入れることになる。

小学校教育のための準備教育は生活指導としての意味で必要であるが入学のための準備教育はやめてもらいたい。

上の学校に入るための段階的な生活準備教育は行うべきである。

生活の態度、基礎的生活習慣の養成が本来

### 四、児童学の立場から

平 井 信 義

問題は小学校の受け入れ方にあると思ひます。選衡の方法が、単に智能テストでは無い、性質のよさとか、育て方のよさとかを充分考慮されていれば、智能テストに狂奔するようなことはなくなるでしょう。むしろ育て

方から云えば、智能テストに夢中になる親に問題があるわけで、減点の材料にされてはいかがでしょうか。智能テストを練習してきたものかどうかは、テストが熟練者であればじきに見分けがつくものです。練習して来た